



十字西 公民館だより

■令和3年度-2号
令和3年6月1日発行
〒019-0513
十字町植田字一ト市330
☎ 44-3100 FAX 44-5243

ゴミの
しほの
社保
育園
児が
グラ
ウン
ドの



十字西地区

交流センター長（兼）公民館長
近 孝夫

地域の皆様、いかがお過ごしでしょうか。
コロナ禍での不自由な生活様式から早く
脱皮し新鮮な空気を「お腹一杯」吸って
みたいですね。

5月10日（月）秋田さきがけ新聞に、
秋田市で新型コロナウイルス感染者が急増

していることを受け、県は5月9日、5段階に設定した独自の感染警戒レベルを秋田市に限り「3（協力要請）」から「4（要請）」に引き上げました。これに伴い県は、各市町村に「家庭内での感染防止対策の再徹底」、「大人数での集まり自粛の再徹底」、「密を避ける対策の徹底」、「学校内外の活動で感染防止策徹底」を呼び掛けています。

しかし、県民へのお願いモードも大事ですが、私は早い時期のワクチン接種を望みたいものです。そのためにもワクチン予約の電話やネットによる「競争化」よりも、高齢者に優しい「簡素化の工夫」が大事になると思われます。

早く全県民がワクチン接種を完了し、安心安全な生活を取り戻したいものです。

この館報が発刊される頃は、殆ど田植えが終了しているかと思いますが、田植え後に行う早苗振り「サナブリ」について少し考えてみたいと思います。

早苗振りとは田植え終了後の祝い事であり、早苗振りの「サ」は「田の神」のことであります。また、早苗振りの語源は各地方によって少々異なりますが、九州地方では「サノボリ」と呼ばれ、田植えが終了し田の神が天に帰る日のことであります。逆に「サオリ」は、田植えのため天から田の神が下りて来る日のことだそうです。

次に早苗振りの「フリ」は「振る舞う・もてなす」と解釈され二つの意味があります。一つ目は「田の神を天にお送りするためのおもてなし」、二つ目は「田植えを手伝ってくれた周囲の人たちを慰労すること」です。

因みに、早乙女とは稲の苗「早苗」を植える女性のことを指しております。



～ 偉人の言葉に学ぼう ～

（しいわく） （まど） （うれ） （おそ）

「子曰く、知者は惑わず、仁者は憂えず、勇者は懼れず」
（知の人は惑わない、仁の人は憂えない、勇の人は恐れぬ。）

※「知」と「仁」と「勇」をバランスよく備えた人物こそ「君子」
すなわち真の人格者であると言えるのではないか。

「心にひびく論語」より





植田グラウンドゴルフ同好会

会長 松田 幹晴

私たちは、現在男性11名、女性10名の21名で、これまでは毎週土曜の午前中に活動を行ってきました。昨年度は年3回の独自の大会も開催しています。

練習場所は夏期は原則、吉田グラウンドゴルフ場ですが、雨天時と冬期は、今春4月の小学校統合に伴い、植田小学校体育館から旧西中体育館に変更しました。（※月曜日午後1時30分より開始）

グラウンドゴルフはルールが簡単で、誰でもすぐに取り組めるスポーツであり、高度な技術や多くの体力も必要ありません。まさに高齢者向けのスポーツだと思います。

地域の

こうとうびと



行動人

★行動人とは秋田県の生涯学習が目指す人間像。
学んだことを生かして行動する人のこと。



★興味のある方、 一緒に楽しみませんか？

入会ご希望の方は、次の公民館の担当者までご連絡ください。

◆十文字西公民館 吉村 ☎44-3100



★来館されるみなさまへ

コロナウィルス感染予防のため次の御協力をお願いします。

- ①「マスク着用・手指の消毒・3密防止・ごみの持ち帰り」
- ②施設使用の際は「使用者名簿の提出」をお願いします。

（氏名・住所・連絡先・体調）※記入書類は事務所にあります。

